

科目名	投映法特論 [院]					単位	2.0
担当教員	石牧 良浩						
授業形態	講義	開講期間	後期	配当年次	1, 2	授業番号	1782

●授業のテーマ

様々な投映法手法、検査者に求められる姿勢やレポート作成について学ぶ。

●到達目標

心理検査の目的、心理検査を行う姿勢、検査を受ける側の立場の感情を理解する。各心理テストの特徴や解釈法についての説明ができる。

●学習内容(授業概要)

投映法は心理検査法の一つであり、心理臨床における重要な業務の一つである。心理アセスメントは、投映法だけでなく、観察や面接、質問紙法の心理検査など、様々な方法を組み合わせて行う。本講では、臨床現場でよく用いられる投映法のいくつかを取り上げ、それらを体験することで、投映法がパーソナリティのどのような側面を把握しているのかを学習し、前期に体験した質問紙法との違いについて理解する。また、検査の実施から検査レポートの書き方まで、体験を通して具体的に学んでいく。

●学習内容(授業計画)

1. オリエンテーション
2. 投映法とは何か
3. 投映法の理論的背景
4. テスト・バッテリー
5. 描画法① バウムテスト
6. 描画法② HTP テスト
7. 描画法③ 風景構成法
8. PF スタディ
9. 文章完成法 (SCT)
10. 主題統覚検査 (TAT)
11. ロールシャッハ・テスト
12. 検査データの整理
13. 分析と解釈①
14. 分析と解釈②
15. まとめ

●準備学習・事後学習の内容

体験した心理テストの結果を整理し、テキスト・配布プリントにしたがって分析する。必要に応じて、実施の練習をする。

●成績評価方法・基準

講義への参加状況 50%、学期末試験 50%の総合評価とする。

●テキスト（必携）

「臨床投映法入門」池田豊應編

出版社：ナカニシヤ

販売先：生協

●参考文献／その他

講義中にプリントを配布する。プリントを綴じるためのファイルを各自用意すること。

●履修上の注意

講義中に指示。

講義計画は変更が生じる場合があるので了承されたい。